



つるがや たより

第13号

発行日平成23年 1月25日

群馬県伊勢崎市境百々421

医療法人鶴谷会鶴谷病院

広報委員会

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます、また、昨年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

鶴谷病院では本年3月より、2階建ての東棟の建築が始まり、そして2013年に本館南側に3階建ての新南棟を新たに増築し、2014年には本館の耐震化工事を予定しております。新南棟には、1階に外来受診科を置き、2階には最新設備を備えた手術室を、3階は急性期病棟を構え、更なる診療に力を注いでいきます。

建築工事中は皆様に、多々ご迷惑をおかけする事もございますが。地域に根づいた身近な病院として、笑顔を決やさず、心のこもった医療を患者さまへ提供し、安心と信頼の医療を受けていただけるよう努力して行きます。

今年一年、皆様方の更なるご指導と、ご鞭撻をお願い申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



院長 鶴谷 嘉武

理事長 鶴谷 英樹

医療法人鶴谷会の理念

- ①人間愛を持って患者さんに接し、心のこもった医療・介護サービスにつくすこと。
 - ②日進月歩する医療・福祉に対して前向きに取り組み、“チームワーク”を大切にすること。
- これらをふまえ、質の高い医療・介護サービスを地域の方々に提供する。

特集「糖尿病」

糖尿病腎症について

循環器内科 関口 賢一



①糖尿病の3大合併症とは何ですか？

糖尿病は、インスリンの量や働きが不足して高血糖を中心とした代謝異常がおきる病気です。血糖値が高いことは問題ですが、それと同じように糖尿病の合併症も大きな問題です。糖尿病の合併症というのは、糖尿病がもとになって起こる、他の病気や症状のことです。腎症、網膜症、神経障害は糖尿病の3大合併症と呼ばれています。

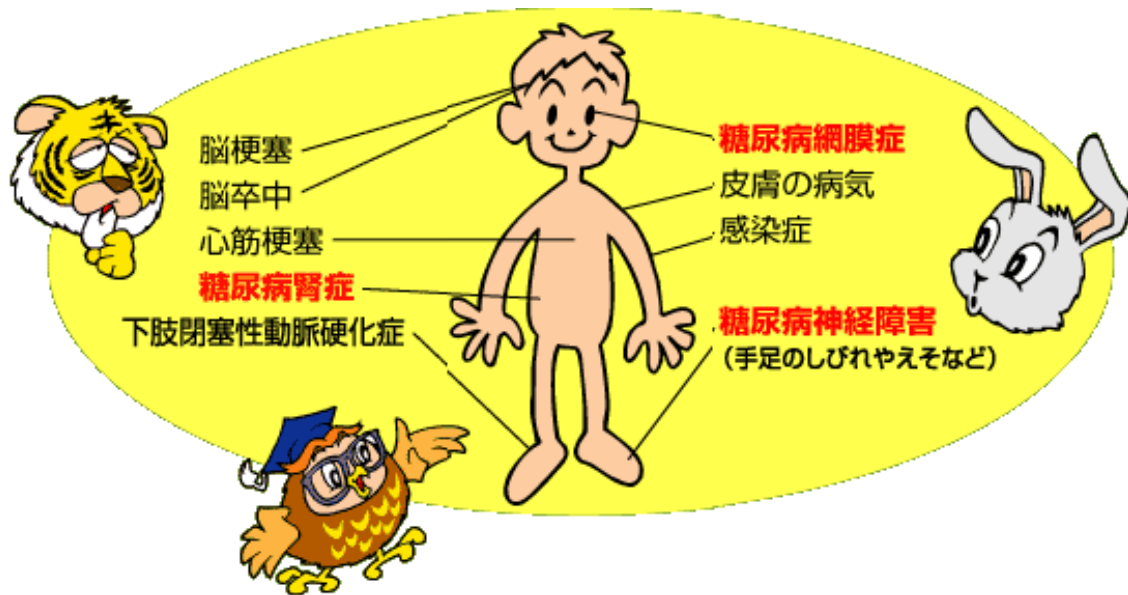


図 1. 糖尿病の合併症(厚生労働省のホームページより)

②糖尿病腎症とはどんな状態のことですか？

血糖コントロールが悪い状態が続くと腎臓の機能が障害され、尿中にタンパク質がでてきます。初めのうちは微量のアルブミンが尿中に検出されるだけだったのが、次第にたくさんのタンパク質が尿中にでてきます。腎臓の機能がだんだんと悪くなり、最終的には自分でおしっこを作ることができなくなって慢性腎不全となり、人工透析が必要になります。

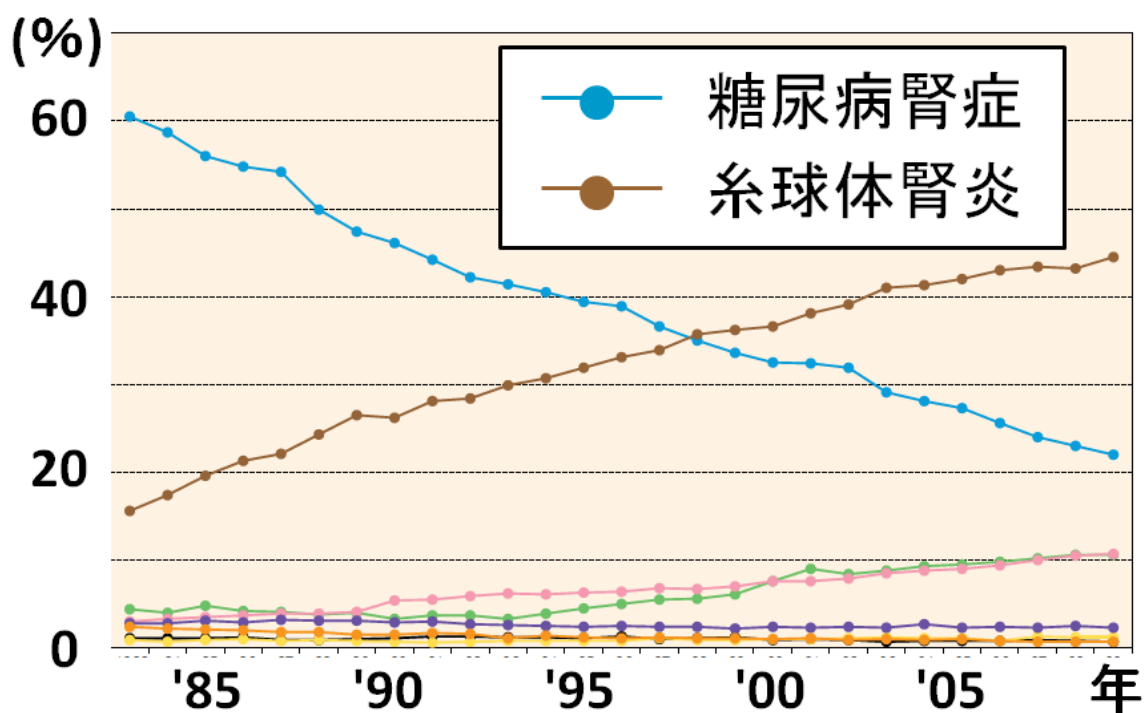
図 2. 糖尿病腎症の病期分類

	第1期	第2期	第3期A	第3期B	第4期	第5期
尿蛋白	正常	微量アルブミン尿	持続性蛋白尿	持続性蛋白尿	慢性腎不全	末期腎不全
腎機能	正常	正常	ほぼ正常	低下	著明に低下	透析療法中

③糖尿病腎症の方は増えていますか？

糖尿病腎症が進行すると、最終的には人工透析が必要になります。糖尿病腎症が透析導入の原因疾患の第1位となつてから、すでに10年がたちました。その間も糖尿病腎症による透析導入の数は増え続けています。今なお糖尿病患者全体の数が増えていることからすると、今後も人工透析が必要な方は増え続けるかもしれません。

図3. 透析導入の主要な原因疾患の推移(日本透析医学会)



④治療はどうすればいいですか？

糖尿病性腎症の発症や進展には、高血糖だけではなく高血圧や脂質異常も関わっていることが知られています。最近の報告では、血糖・血圧・脂質などを厳格に管理する集約的治療を行うことで、尿中のアルブミン量を減らしたり、腎機能の悪化を防げることができるとされています。

図4. 糖尿病治療ガイドライン推奨の管理目標値

血糖	HbA1c 6.5%未満
血圧	130/80 mmHg未満
脂質	総コレステロール 200mg/dl未満
	中性脂肪 150mg/dl未満
	HDLコレステロール 40mg/dl以上